

【小学校算数 基本問題 小5 - 】

「式と計算」No. 1	( )組	氏
	( )番	名

1  の中にあてまる数をかきましょう。(単元評価問題:小5・1)

(1)  $5.4 + 2.4 + 3.6 = 5.4 + (2.4 + \boxed{3.6})$

(2)  $28 \times 2.5 \times 4 = 28 \times (2.5 \times \boxed{4})$

(3)  $(4.2 + 5.6) \times 8 = 4.2 \times \boxed{8} + \boxed{5.6} \times 8$

(4)  $(10 - 0.1) \times 23 = 10 \times \boxed{23} - 0.1 \times \boxed{23}$

2 くふうして計算しましょう。(単元評価問題:小5・2)

(1)  $7.4 + 8.5 + 1.5$

(2)  $83 \times 9.9$

$$= 7.4 + (8.5 + 1.5)$$

$$= 7.4 + 10$$

$$= 17.4$$

$$= 83 \times (10 - 0.1)$$

$$= 83 \times 10 - 83 \times 0.1$$

$$= 830 - 8.3$$

$$= 821.7$$

3 次の式は何を表していますか。下の絵を見て答えましょう。(単元評価問題:小5・3)

	<input type="text" value="60"/>
アメ	▲
	<input type="text" value="200"/>
スナックがし	▲
	<input type="text" value="140"/>
チョコレート	▲

(1)  $60 \times 7$

(2)  $200 + 140$

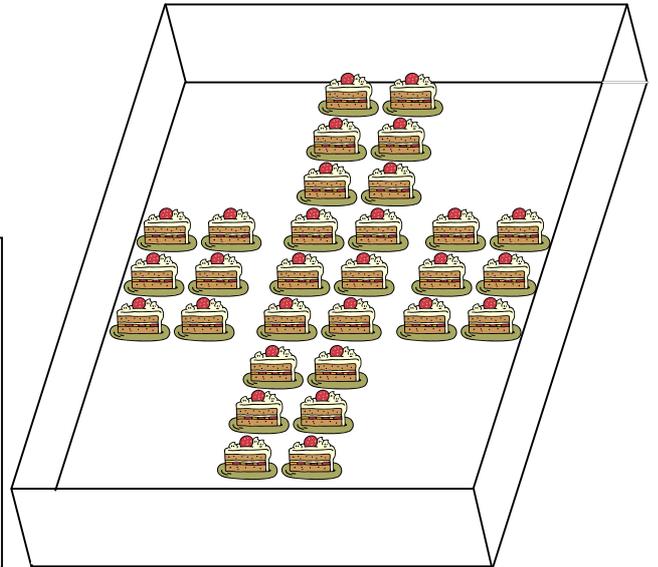
(3)  $140 + 60 \times 5$

【小学校算数 基本問題 小5 - 】

「式と計算」No. 2	( )組	氏名
	( )番	

4 右のように、ケーキが箱にはっています。  
みらいさんは、ケーキの個数を求める式を、  
 $6 \times 5$ と考えました。(単元評価問題：小5・4)

(1) みらいさんの考え方を説明しましょう。  
( )にあてはまる数を書きましょう。

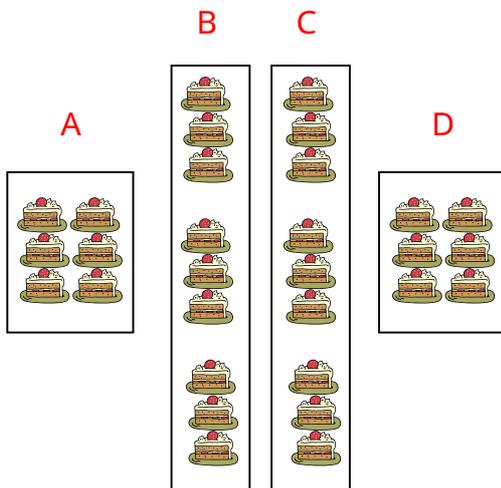


ケーキ( 6 )個を( 5 )組として  
まとめると、( 5 )組できます。  
だから、式は(  $6 \times 5$  )となります。

(2) つばささんの考えた式「 $6 \times 9 - 6 \times 4$ 」の考え方をことばや式で説明しましょう。

(説明)  
まず、ケーキ6個を1組として考えたときに、箱いっぱいケーキがならんでい  
るときの数を求める。 $6 \times 9 = 54$   
実際は、 $6 \times 4 = 24$ 個分ないわけだから、その個数分を引いて、実際の個数を  
求める。

(3) 下の図を式に表し、答えを求めましょう。



式	$6 \times 2 + 9 \times 2 = 30$	
	A と D の 組合せ	B と C の 組合せ
答え	30	個